

意見等の募集の概要

<p>1. 河川整備計画変更原案を一般に公開し意見を募集しました。</p> <p>○公開と意見募集の期間：平成21年2月18日～3月17日（一ヶ月間）</p> <p>○公開場所：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県庁県政情報センター ・県民お役立ち情報コーナー（県広域地場産業振興センター、吉野県税事務所、西奈良県民センター、桜井県税事務所、県庁舎東棟県民ホール、県立図書情報館） ・奈良県庁河川課、関係土木事務所（奈良、郡山、桜井、宇陀） ・関係市町村（奈良市、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、宇陀市、川西町、三宅町、田原本町、高取町、明日香村） ・奈良県河川課ホームページ <p>○意見の提出方法：郵送、ファクシミリ、電子メール</p> <p>○寄せられた意見：なし</p>
<p>2. 住民を対象とした川づくり懇談会を開催し意見をいただきました。</p> <p>○開催日時：平成21年2月20日（金）19：30～20：30</p> <p>○開催場所：三宅町中央公民館（三宅町大字伴堂）</p> <p>○参加者数：27名</p> <p>○寄せられた意見：10件</p>
<p>3. 関係水利使用者及び関係漁業者に説明し意見をいただきました。</p> <p>○説明日：平成21年3月3日～3月4日</p> <p>○意見募集期間：平成21年3月4日～3月17日</p> <p>○寄せられた意見：16件（説明時の聴き取り）</p>

意見等に対する県の考え方の整理

意見聴取の方法	意見等の分類	意見等の概要	対応分類	県の考え方
川づくり懇談会	治水対策 （河川計画）	石見都市下水路は京奈和自動車道の雨水等を考慮して整備されているが、今回の河川整備計画でもその点は考慮されているのか。	参考	新川の流域に応じた検討を行っていることから、京奈和自動車道による流出の形態は反映されており、石見都市下水路との整合は取れている。
川づくり懇談会	治水対策 （河川計画）	新川の支川については整備しないのか。	参考	まず新川本川の改修を本格的に進めていきたいと考えている。
川づくり懇談会	治水対策 （河川計画）	1時間に100mmを超えるような雨が降ると言われているのに、50mm対応の工事では到底対応できないのではないのか。	参考	工事を実施するにあたっては上下流のバランスを図る必要があり、大和川では時間50mm程度の降雨を対象としている。国による下流の大和川の改修が進めばさらに大きな規模の改修に取りかかることになるが、それがいつになるかは明らかでない。このため、流域対策としてため池やグラウンド貯留も実施し、流域全体の安全を確保している状況である。
川づくり懇談会	治水対策 （河川計画）	東屏風の団地の西側のところで、石見都市下水路と平行して屏風池から流れる水路がある。雨が降ると、浸水まではいかなくても満水位近くまで水位が上がる。今回の計画を実行すれば、この問題は解決されるのか。	参考	河川改修により新川の水位が下がるため、新川へ流れ込む水路からの流入も良くなり、問題は軽減されると思われる。

意見等に対する県の考え方の整理

意見聴取の方法	意見等の分類	意見等の概要	対応分類	県の考え方
川づくり懇談会	治水対策 (計画期間)	河川整備計画は20～30年単位の計画だが、新川下流の飛鳥川合流点から辰己橋までの整備は計画上何年を見込んでいるか。	参考	測量や設計を行っていない現時点で整備にどれだけの時間を要するかは明らかでないが、用地買収の協力もいただいて進めていきたいと考えている。
川づくり懇談会	治水対策 (計画期間)	現在実施中の工事は、毎年40～50m程度の進捗で非常に小規模に思えるが、いつまで工事を予定しているのか。	参考	測量や設計を行っていない現時点で整備にどれだけの時間を要するかは明らかでないが、用地買収の協力もいただいて進めていきたいと考えている。
川づくり懇談会	治水対策 (整備手法)	新川の下流、飛鳥川の合流点手前にモンビ井堰があり、その付近にある橋梁の2基の橋脚には、大雨の時には流木が引っかかり、周辺が水浸しの状態になる。このモンビ井堰付近の橋梁を撤去して橋脚無しにしたい。	参考	この橋梁は町道橋で、河川改修を行う場合は県が架け替える。阻害するものは取り払うとともに、川幅からみて橋脚の無い橋梁に架け替える予定である。
川づくり懇談会	維持管理 (堆積土砂)	新川放水路に土砂がかなり溜まり水深が浅くなっているが、その対策について教えてほしい。	反映済み	第3章河川の整備の実施に関する事項 第2節河川の維持に関する事項 (2) 河川の維持の種類及び施行の場所 「治水上支障となる堆積土砂の除去や床固めの設置等による河床の維持管理など必要な対策を実施する。」 なお、現地の状況を確認したうえで対策を検討したい。
川づくり懇談会	その他 (許可工作物)	モンビ井堰付近の橋梁は、幅員が狭い上に両側には柵が建っているため、大きな車が通りにくいので早急に何とかしてほしい。	参考	現在の橋梁は幅員が約2mであるが、車が通りやすいよう幅員を広げる場合には、三宅町の費用負担が伴うことから、町と協議して決めることになる。
川づくり懇談会	その他 (許可工作物)	河川工事で町道の橋脚等の工事を行う場合、県で施工されるのか。三宅町の財政を考慮すればまず町単独では無理であり、県にお願いするしかない。	参考	現況の道路幅で架け替えを行う場合は県の費用で行う。ただ、拡幅する場合は、町の費用負担も伴って工事を行うことになる。
関係者説明及び聴き取り	治水対策 (流域対策)	新川の辰己橋から上流で浸水被害が無いのは旧村で新規開発が無いからである。それ以外の地域では開発が進んだために河川の水位上昇が速くなってきている。飛鳥川では50cm上昇するのに1時間かかっていたが、最近では45分で上昇するようになった。(飛鳥川)	反映済み	第3章河川の整備の実施に関する事項 第1節河川の整備の実施に関する事項 (1) 整備の実施に関する事項 ④洪水による災害の発生防止又は軽減に関する事項 「ため池の治水利用、雨水貯留浸透施設の設置等の流域対策についても、国・市町村及び関係部局と連携し推進する。」
関係者説明及び聴き取り	治水対策 (内水対策)	県や国にはいつも内水のポンプ排水を要望するが、はっきりと断られる。川西町の1万人を守るよりも下流の10万人を守る方が大事であるとはっきり言われる。川西町は遊水地のようなものだから仕方がない。(大和川等)	参考	河川行政の推進及び事業実施にあたっての参考意見として承っておく。
関係者説明及び聴き取り	水利用	河川工事で河床を下げると用水が取水できなくなってポンプを付けているところもあるので、取水の位置や方法については配慮してもらいたい。	参考	河川整備を実施する段階において配慮するよう努める。
関係者説明及び聴き取り	水利用	桜井市下居の寺川に頭首工がある。鹿路トンネル工事の影響で堆積して用水が取れなくなっている。浚渫してもらえないか。(寺川)	参考	現地の状況を確認したうえで治水上の問題があれば対策を検討したい。(当該地区の県管理区間に頭首工は無く寺川支川の準用河川にあると思われる。)

意見等に対する県の考え方の整理

意見聴取の方法	意見等の分類	意見等の概要	対応分類	県の考え方
関係者説明及び聴き取り	水利用	新川を拡幅し河床を下げると新川から下流の流量が増えることになる。新川の下流にある飛鳥川の井堰から取水しているが、流量が増えると少しの雨でも井堰が倒れてしまううえに、上流から取水されると取水できるようになるまでに時間を要するため、そのようなことのないようにしてもらいたい。(飛鳥川)	参考	河川行政の推進及び事業実施にあたっての参考意見として承っておく。
関係者説明及び聴き取り	河川環境(水質)	濁水が出ないようにしてもらいたい。	反映済み	第3章河川の整備の実施に関する事項 第1節河川の整備の実施に関する事項 (1)整備の実施に関する事項 ①河川環境の整備と保全に関する事項 「工事中に生じる濁水については濁水防止等の措置を実施するなど必要に応じて、生物の生息環境に影響を与えないよう配慮する。」
関係者説明及び聴き取り	河川環境(水質)	300～500kg程の転石を飛び石のように入れてもらいたい。瀬ができて川もきれいになる。(飛鳥川)	反映済み	第3章河川の整備の実施に関する事項 第1節河川の整備の実施に関する事項 (1)整備の実施に関する事項 ①河川環境の整備と保全に関する事項 「各河川の特性を考慮し、多自然川づくりによる瀬や淵の形成・・・など必要に応じた工事を実施することにより、河川が持つ機能の多面性を活かし「その川らしい川づくり」を行う。」
関係者説明及び聴き取り	河川環境(水質)	川をきれいにするための初瀬ダムの放流をしてもらいたい。下流でヘドロが溜まるばかりである。春、秋の観光時期にヘドロの臭いがすると困る。濁水時にはひどい臭いである。(初瀬川)	参考	河川行政の推進及び事業実施にあたっての参考意見として承っておく。
関係者説明及び聴き取り	河川環境(生物)	初瀬ダムができて川が無茶苦茶になった。元に戻してほしい。ダム工事の関連で河川工事もしたが深みを全部埋めてしまった。瀬と淵がなくなってしまった。(初瀬川)	反映済み	第3章河川の整備の実施に関する事項 第1節河川の整備の実施に関する事項 (1)整備の実施に関する事項 ①河川環境の整備と保全に関する事項 「各河川の特性を考慮し、多自然川づくりによる瀬や淵の形成・・・など必要に応じた工事を実施することにより、河川が持つ機能の多面性を活かし「その川らしい川づくり」を行う。」
関係者説明及び聴き取り	河川環境(生物)	初瀬ダムができる前は年に3～4回、避難の用意をするほどの出水があって、汚れが流され川がきれいになった。今はダムの放流が一定なので川がきれいにならず、鮎が棲み着かなくなった。(初瀬川)	参考	河川行政の推進及び事業実施にあたっての参考意見として承っておく。
関係者説明及び聴き取り	河川環境(景観)	昔は自然石護岸は値段が高いからダメだと言いつつ、今は自然石しか使わないと言う。一貫した計画に基づいた整備を実現してもらいたい。	参考	河川行政の推進及び事業実施にあたっての参考意見として承っておく。

意見等に対する県の考え方の整理

意見聴取の方法	意見等の分類	意見等の概要	対応分類	県の考え方
関係者説明及び聴き取り	維持管理 (堆積土砂)	浚渫をしてもらいたい。	反映済み	第3章河川の整備の実施に関する事項 第2節河川の維持に関する事項 (2) 河川の維持の種類及び施行の場所 「治水上支障となる堆積土砂の除去や床固めの設置等による河床の維持管理など必要な対策を実施する。」
関係者説明及び聴き取り	維持管理 (堆積土砂)	初瀬ダムはゲートがないダムであるので堆積土砂が溜まる。ここ何十年も土砂あげしていない。堆積しているのが見える。年に1～2回は土砂あげすることを考えてもらいたい。(初瀬川・初瀬ダム)	反映済み	第3章河川の整備の実施に関する事項 第2節河川の維持に関する事項 (2) 河川の維持の種類及び施行の場所 「初瀬ダムについては、・・・ダム貯水池の水質調査や堆砂測量についても定期的実施し必要に応じて対策を行う。」
関係者説明及び聴き取り	維持管理 (除草)	年に2～3回、刈る時期を前倒ししてやれば今のように伸びっぱなしで無茶苦茶になるようなことはない。道路の舗装が割れるほど草が伸びているところがある。草を刈ると見通しが良くなり防犯にも良い。県の地域が育む川づくり事業のように、地域密着型にして地元で草刈りをしてもらうのは良いことである。地元の人たちに見てもらおうと、いつ、どこを刈ればよいかもよく分かる。	反映済み	第3章河川の整備の実施に関する事項 第1節河川の整備の実施に関する事項 (1) 整備の実施に関する事項 ②地域と一体となった川づくりに関する事項 「県と市町村が協力して、地域に愛される美しく豊かな公共空間の創造、さらにはコミュニティーの活性化を図るため地域住民団体等が自主的に行う清掃、除草及び緑化等の活動を支援する地域が育む川づくり事業等の河川愛護団体支援策を推進する。」 第2節河川の維持に関する事項 (2) 河川の維持の種類及び施行の場所 「県管理河川を適切に維持管理するため、堤防の除草や清掃活動などを行う。」
関係者説明及び聴き取り	維持管理 (除草)	アシが繁ったところにヘドロが溜まるし、鮎を釣る場所もなくなるためアシの駆除をしてもらいたい。(初瀬川)	反映済み	第3章河川の整備の実施に関する事項 第2節河川の維持に関する事項 (2) 河川の維持の種類及び施行の場所 「県管理河川を適切に維持管理するため、堤防の除草や清掃活動などを行う。」
関係者説明及び聴き取り	維持管理 (ゴミ)	漁協が鮎の放流をするときは啓発運動も行っている。幼稚園の子供に放流してもらったり、鮎のつかみ取りをしたり、「川にゴミを捨てない」啓発チラシを渡している。県にも「川にゴミを捨てない」啓発看板の設置をお願いしたい。(初瀬川)	参考	河川行政の推進及び事業実施にあたっての参考意見として承っておく。
郵送 ファクシミリ 電子メール		(意見なし)		